

2020年11月6日

各位

株式会社 JSOL

Master Data Management の実現を支援する J-MDM、最新バージョンをリリース

株式会社 JSOL(以下 JSOL)は、11月6日より Master Data Managemet(以下、MDM)市場に対して、従来の機能を大幅に強化した最新バージョン J-MDM2.3 のリリースを開始しました。今回のバージョンアップのポイントは、ユーザー側でマスター管理画面を自由に構築することが可能となった点です。企業が持つマスターデータの管理画面の実装を、コーディングレスで可能にしました。より手軽で生産性の高いマスターデータ統合基盤が構築できるようになります。

J-MDM は、純国産 MDM パッケージとして今後、年間 10 社の導入と、3 年後に 100 社の企業に導入することを計画しています。

[背景・概要]

昨今の経営テーマとして標榜されるデジタル経営を実践する上で、最も重要な資産となるのは各企業が保有する”データ”です。企業が持つデータは、例えば取引先データにしても、部署によって古いままの住所で持っていたり、社名変更前のままだったり、としばしば整合性に欠け、業務に非効率さをもたらす一因になっています。データを利活用するためには、基幹系から情報系までさまざまなシステムのデータの整合性を保つことが重要ですが、企業のグローバル化、ビジネスの統廃合によるデータ品質のばらつき、データライフサイクルの把握、流動的な管理項目への対応など、データマネジメントに悩まされている企業も多く見受けられます。本来、マスターデータ管理はデータを利活用するための手段、必要以上の工数・コストをかけずに統合基盤を準備することが企業全体の TCO 削減につながるものと考えています。

本バージョンを利用することにより、従来は開発ベンダーが行うシステム導入作業をお客さま自身で構築・運用することで短納期、低コストでの MDM システム導入を実現します。例えば、情報システム担当(開発ベンダー)は要件確認時に試験的に作成した MDM システムを用いて仕様を聞き、その場で実装を進めるので、利用ユーザーは業務イメージを確認しながら導入を進めることができます。

[新バージョン 機能トピック:自由レイアウト機能の特徴]

- ・パラメータ設定による画面構築(コーディングレスによる開発)
- ・バリデーションチェックなどの設定可能(半角英数記号、全角カナ、全角英字、電話番号書式、郵便番号書式)

[新バージョン その他機能トピック]

- ・マルチ DB 対応:Oracle、Postgre、SQL
- ・W/F 機能強化:マスター申請時における「優先度設定」、「コメント追加」

<自由レイアウト機能>

プレビューでフォーカスした項目毎にプロパティを定義します。

マスタ管理画面（検索、登録）をノンコーディングで開発可能です。

「自由レイアウト」機能で編集したレイアウトは自動生成され、その場で反映されます。

■株式会社 JSOL

(本社: 東京都中央区、代表取締役社長: 前川 雅俊)

<https://www.jsol.co.jp/>

JSOL は、ICT コンサルティングからシステム構築・運用までの一貫したサービスで、お客さまのより幅広いニーズにお応えできる ICT サービスコーディネーターです。

2009 年 1 月、NTT データ、三井住友フィナンシャルグループ、日本総合研究所との業務・資本提携により、社名を株式会社 JSOL に変更するとともに、NTT データグループおよび SMBC グループの一員として、お客さまのビジネスに貢献できる ICT ソリューションの提供に取り組んでいます。

※本リリースに記載されている内容は予告無く変更することがあります。

※本リリースに記載されている製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

【お問い合わせ先】

株式会社 JSOL 法人事業本部 有澤

TEL: 03-5859-6001 E-Mail: rfi@jsol.co.jp

JSOL CORPORATION